

令和元年第2回板倉町議会定例会

議事日程（第3号）

令和元年6月11日（火）午前9時開議

日程第 1 議員派遣の件

日程第 2 閉会中の継続調査、審査について

○出席議員（12名）

1番	小野田	富康	議員	2番	亀井	伝吉	議員
3番	森田	義昭	議員	4番	本間	清	議員
5番	小林	武雄	議員	6番	針ヶ谷	稔也	議員
7番	荒井	英世	議員	8番	今村	好市	議員
9番	黒野	一郎	議員	10番	青木	秀夫	議員
11番	市川	初江	議員	12番	延山	宗一	議員

○欠席議員（なし）

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

栗原	実町	長
中里	重義	副町長
鈴木	優	教育長
落合	均	総務課長
根岸	光男	企画財政課長
丸山	英幸	税務課長
峯崎	浩	住民環境課長
橋本	宏海	福祉課長
小野寺	雅明	健康介護課長
伊藤	良昭	産業振興課長
高瀬	利之	都市建設課長
小野田	浩靖	会計管理者 会事務代理
小野田	博基	教育委員会 専務局長
伊藤	良昭	農業委員会 専務局長

○職務のため出席した者の職氏名

小	林	桂	樹	事	務	局	長			
川	野	辺	晴	庶	務	議	事	係	長	
福	知	光	徳	行	政	庶	務	係	長	兼
				議	会	事	務	局	書	記

開 議 (午前 9時00分)

○開議の宣告

○延山宗一議長 おはようございます。

本日は定例会の最終日です。直ちに本日の会議を開きます。

○議員派遣の件

○延山宗一議長 日程第1、議員派遣の件を議題といたします。

お手元に配付したとおり、議員派遣は5件であります。会議規則第126条の規定により、それぞれの研修に議員を派遣することに異議ありませんか。

〔異議なし〕という人あり〕

○延山宗一議長 異議なしと認めます。

よって、研修会5件について議員派遣することに決定いたしました。

なお、派遣内容に変更があった場合は、議長に一任していただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔異議なし〕という人あり〕

○延山宗一議長 異議なしと認めます。

よって、派遣内容に変更があった場合は、議長一任に決定いたしました。

○閉会中の継続調査、審査について

○延山宗一議長 日程第2、閉会中の継続調査、審査についてを議題といたします。

お手元に配付したとおり、各常任委員長及び議会運営委員長から閉会中の継続調査、審査の申出書が提出されております。

お諮りいたします。各委員長申し出のとおり、閉会中の継続調査、審査に付することに異議ありませんか。

〔異議なし〕という人あり〕

○延山宗一議長 異議なしと認めます。

よって、各委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査、審査に付することに決定いたしました。

○町長挨拶

○延山宗一議長 以上で今定例会に付議された案件は全て終了いたしました。

ここで町長より発言を求められておりますので、これを許します。

栗原町長。

〔栗原 実町長登壇〕

○栗原 実町長 改めまして、おはようございます。この間うちは、この間うちというよりも議会の開会前後、非常に30度を超す暑が続いたわけですが、ここに来まして梅雨らしくというか、ちょっと涼しさも感じるような状況になってまいりまして、慎重にこの議会、いつものとおりご審議をいただきまして、順調にただいままでまいっておりますこと、心からお礼を申し上げます。この形でまいりますれば、閉会と

ということになるのだろうと思っております、兼ねて閉会のご挨拶も含めてご挨拶を申し上げたいと思いません。

5日から本日11日までの7日間にわたりまして、慎重にご審議いただき、13の上程議案を原案どおり可決をいただきましたこと、お礼を申し上げたいと思えます。特に2日目の一般質問では、さきの町議選で2年ぶりに返り咲き当選をされました久しぶりの森田議員の一般質問から始まり、4人の議員さんから質問をいただきました。導入後まだ新しい防災ラジオの関係、工業団地の進捗状況、保育園の散歩コースを含む安全安心の問題、そしてさきの統一選に際しての費用と低投票率の問題等でございまして、ちょうどタイムリーで身近な問題に感じられた内容でもありまして、きっと一般町民にとっても代表して聞いてもらいたいと思うような内容の質問をかわってこちらに向けていただいたというふうに理解をさせていただいております。

また、青木議員の質問については、本人の弁からもございましたように、昨年3月あるいは6月定例会でもほぼ同じ内容の質問がございました。その後の会議等におきましても、答弁を再三にわたって繰り返しているところでもあります、いわゆる合併協の行き着くところは、結果として全体の3分の2以上の特別議決を通して休止となったところでございます。その理由は、ご承知のとおり、一言で言えば館林と板倉の合併に対する見解の相違が一部に大きくあり、合併協で十分な議論がなされていないとの青木議員の主張に対し、3分の2以上の委員さんがその経緯を判断し、休止が望ましいとの結論に合意をされたということでありますので、当然休止を提案いたしました私も含めた館林の市長も同じ判断でありますし、幹事会のあり方に特別問題があったとは思っておりません。

当町の副町長に対しての個人批判的なという、私はそういう表現で果たして適切かどうかは議長さんに後でお聞きしなくてはなりませんが、私の判断としてそう聞こえるのですが、個人批判的な発言が青木議員からは目立ちますが、板倉代表の幹事は1人でなく、副町長、総務課長、企画財政課長の3人で必ず出席をいたしておりますし、3人間での発言の出席前の調整、板倉の立場を踏まえ、どう相手方の幹事と話し合うかということについては、3人間での発言の出席前調整は当然行っており、なお幹事会の直前には私、町長との発言内容の確認も一応行っているということも踏まえ、1回1回幹事会の内容報告も必ず、結果としての報告も必ず目を通してありますので、私の考え方とは基本的には寸分の違いはないことを確認いたしております。

したがって、副町長及びほか2人の幹事もその役目を一応町民目線といたしますか、自分の立場を冷静に踏まえた上、町民目線に立って十分果たしてきたもの。結果として休止になったものの、その立場を含めてよく頑張ったと、むしろ私としては褒めたいと思っておりますし、個人プレーは全くなく、交渉人としては合格点と思っております。

議員さんの、よく青木議員さんみずから口にもするのですが、性悪説に立つ理論展開とも受け取れる。一連の当人に対する質問や見解は、逆に町民を間違った方向に誘導する可能性も考えられなくはないと、そんなふうにも思われますので、できればご配慮をいただくことも肝要かというふうにも私自身考えております。もちろんそれは青木議員さんのご自由でもありますがということをつけ加えます。

話はちょっとかわりますが、町民の皆様にも休止を踏まえた上、再開はするのかあるいはいつあるのかと聞かれることが、その後今日までの間でございます。答えは私は難しくなく申し上げております。板倉町にとって深い、埋めようのない谷が埋まるような提案を館林市さん側からいただけない限り、これ以上の前進

はあり得ないということに基本的にはなるのではないのでしょうかという答え方をしております。

細かな丁寧な議論をしていたら、合併なんかできっこない、大ざっぱに3回も議論をすれば十分だあるいはメリット、デメリットなどと言っているのは合併はできないとの青木議員の理論は、私からすれば強行的合併論であり、独裁的合併論に近いようにも聞ける場合もございまして、私の思う推進論との違いは、話し合いのテーブルには着くが、努力してどうしても違いが克服できなければ破談は当然という考え方でありまして、ひれ伏せ外交は必要ないとの考え方であります。

以上が青木議員さんのちょっと反論をする機会がございませんでしたので、本日私の考え方ということで述べさせていただきます。

話はわかります。初当選の小野田議員からは、消防経験を通しての防災意識の高さから、災害用ドローンの今後の導入方針あるいは提案等々を含め、防災士の具体的な活用についての質問もございました。一定期間を見ながら国、県、自治体の役割分担の中で必要なものは一部事務組合、消防組合も通しながら検討し、自治体で負うべきもの等々も含め、役割分担も一応今の時点でもございますので、総合的に検討いたしながら充実させていく方向には間違いなくなるとは思います、今の時点では断言はしないということでお許しただければと思います。

針ヶ谷議員からは、公民館利用のさらなる活性化や小中一貫教育、公共施設の再利用、そして町PR大使の今まで以上の活用による板倉の全国発信等々、そういう意味では今後の当町の先行きを心配された上でのしっかりとしたご質問をいただき、町の現状を踏まえての質問であったと理解をしております。右肩下がり、縮小社会の長所、短所を議会さんと一緒に考えていくことを踏まえ、今後一つ一つできるものから対応してまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

さきの統一選後の初の定例会でございました。まだまだ頑張るであろうと見られた小森谷、島田両議員さんの不出馬を受けての新構成の定例会でもありました。ちょうど6月議会、水災害シーズンに入りつつある中、今後予定をされております6月23日の避難総合防災訓練あるいは防犯協会の総会、消防団のポンプ操法大会、各種団体の夏季研修の時期にもなりますし、また7月の半ば過ぎると、各地域の夏祭り等、夏場の事業も例年どおり展開をされようかと予測をされます。そして、今年は特別、昨日今日の新聞を見ますと、群馬県は知事選があり、参院選も当然あるわけではありますが、ダブル選、衆参同日選挙が何となく、まだ確定ではありませんが、回避されような感じもいたしておりますが、選挙の年ということで、知事選、参院選は当然でございます。

そんなことで、農繁期が終わり、体も暑さになれない中、疲れもあるいは体調の変化も予測される上での今年今年としての例年にならぬ特別な忙しい年にもなるかと思っておりますので、議員さんあるいはこちら側、私どもともども体調に留意した上で、一生懸命頑張っていきたいと思っておりますし、議員皆様にはご活躍をいただきますようお願い申し上げます、閉会に際してのご挨拶とさせていただきます。大変ありがとうございました。

○閉会の宣告

○延山宗一議長 以上をもちまして令和元年第2回板倉町議会定例会を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。

閉 会 （午前 9時15分）